

# 3号機 PCV※機器ハッチ調査の結果について (小型カメラによる調査の結果について)

2015年10月1日

東京電力株式会社



※ 原子炉格納容器

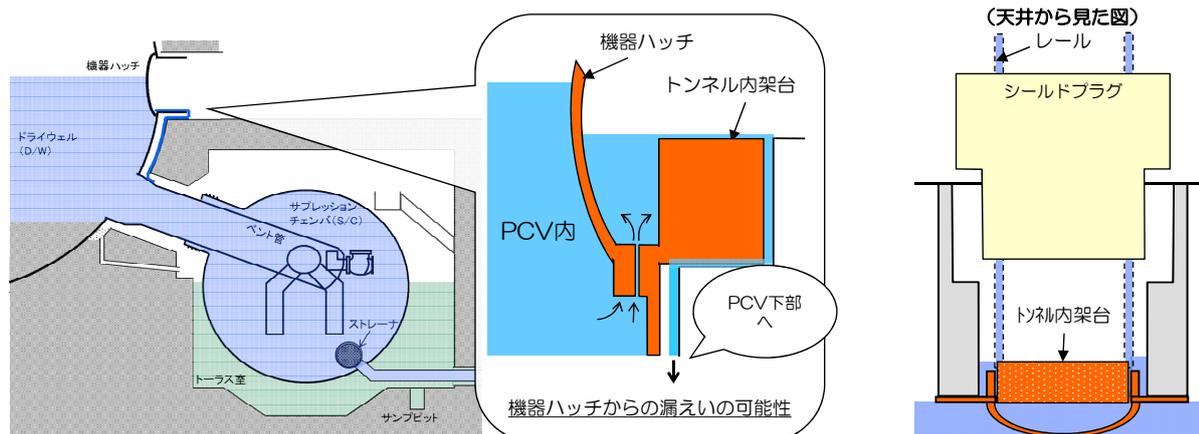
無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

## 1. 調査目的

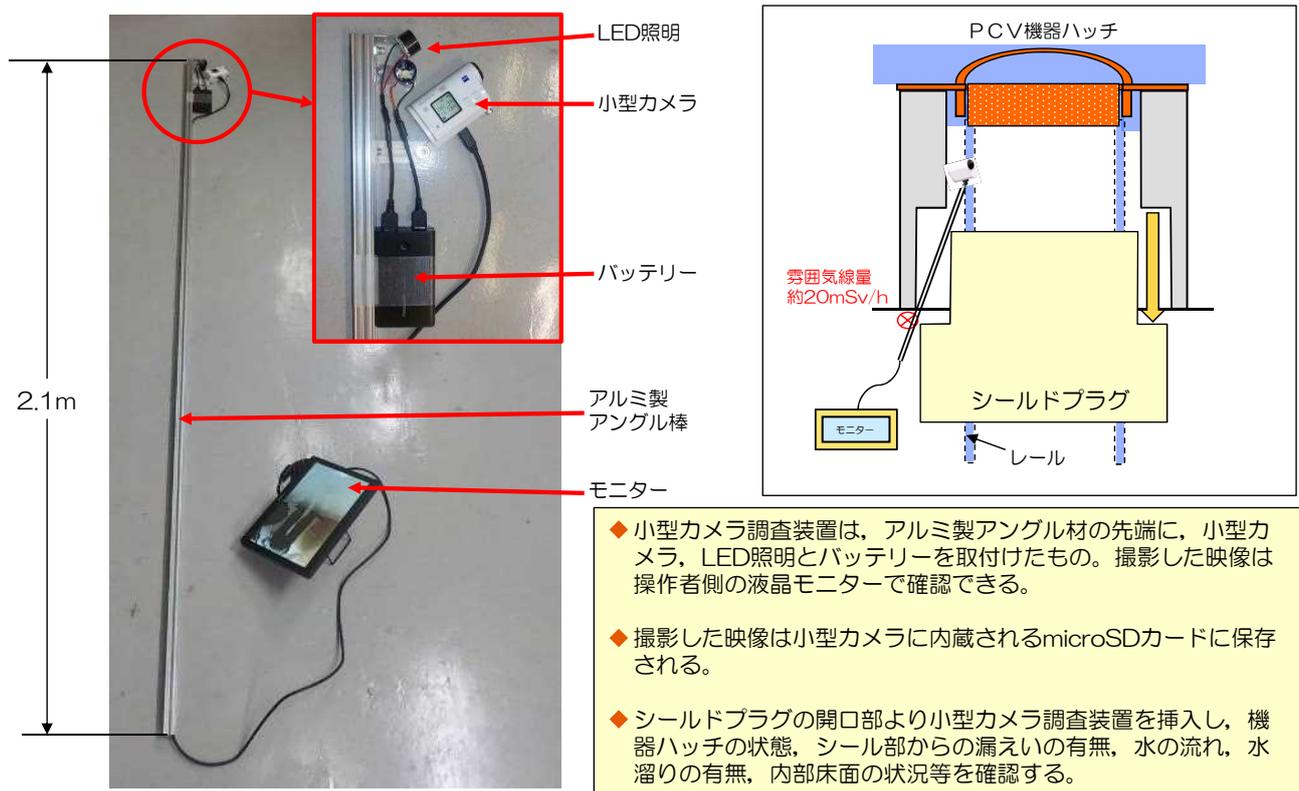
- 3号機PCV機器ハッチ（原子炉建屋1FL北東側）  
2011年にシールドプラグの移動用レールの溝やその付近に高線量の水溜りを確認  
→当該機器ハッチシール部からの漏えいの可能性がある。



- シールドプラグ開口部から小型カメラを挿入して機器ハッチの調査を実施する。



## 2. 調査装置の概要



※今回の調査結果を踏まえ、小型調査装置による調査の判断を行う。

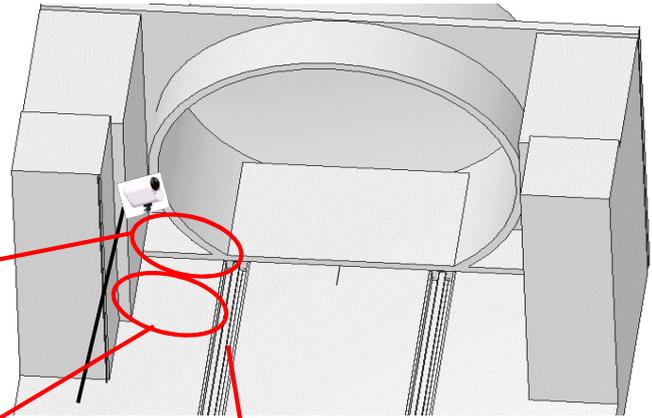
## 3-1. 調査結果



## 3-2. 調査結果



床面（塗膜片等が堆積）



レール溝に水溜りあり

## 4. まとめ

- 2015年9月9日に3号機PCV機器ハッチについてシールドプラグの隙間から小型カメラを挿入して調査を行った結果を報告する。
  - ◆ PCV機器ハッチからの漏えいは確認されなかった。
  - ◆ 機器ハッチ自体の変形等も確認されなかった。
  - ◆ シールドプラグ内床面は湿っているような状態であった。また、シールドプラグ移動用のレール溝に水溜りが確認された。
  - ◆ シールドプラグ内側上部より雨水または結露水と思われる水の滴下が確認された。
  - ◆ シールドプラグ内の床は塗膜等の堆積が確認された。
  - ◆ 今回の調査は当社社員5名で実施し、計画線量:2.2mSv/人に対し、最大被ばく線量:0.99mSv、総被ばく線量:3.62mSv・人であった。

## 5. 小型調査装置での調査について

- 本調査にてPCV機器ハッチからの漏えいは確認されなかったものの、一部死角となり確認できない箇所があったことから、小型調査装置にてハッチに接近し、調査を実施する。



## 6. 今後のスケジュール

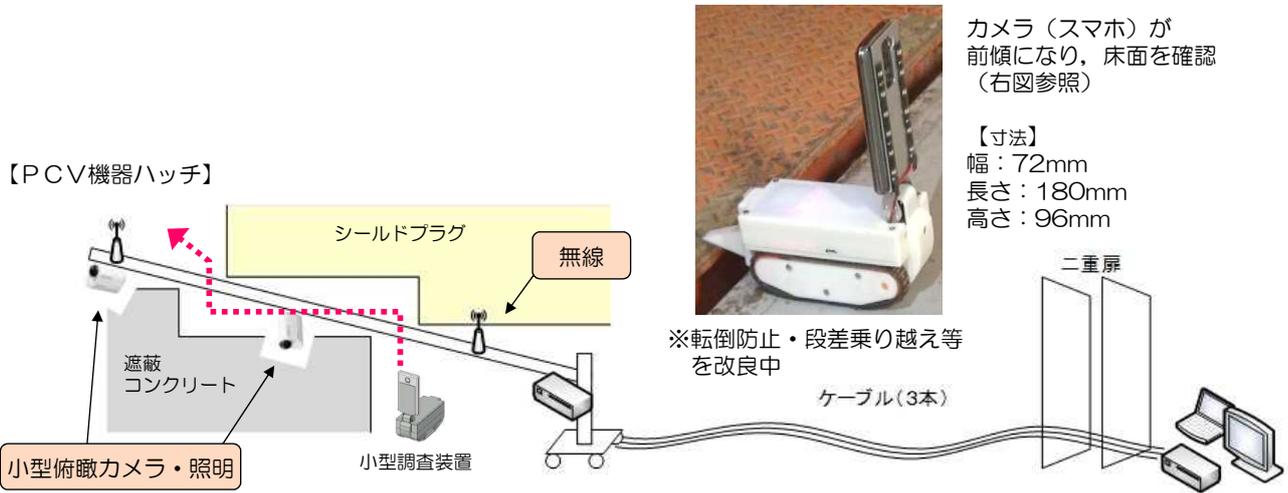
	2015年度		
	9月	10月	11月
3号機 PCV機器ハッチ調査	9/9 ■ 小型カメラ調査 ■ 装置改良・検討	■ 5u モックアップ	■ 装置での調査

- 本調査映像を基に調査装置の走行性等を調整し、5号機にてモックアップを実施する。3号機での調査は11月上旬予定。

## (参考) 小型調査装置

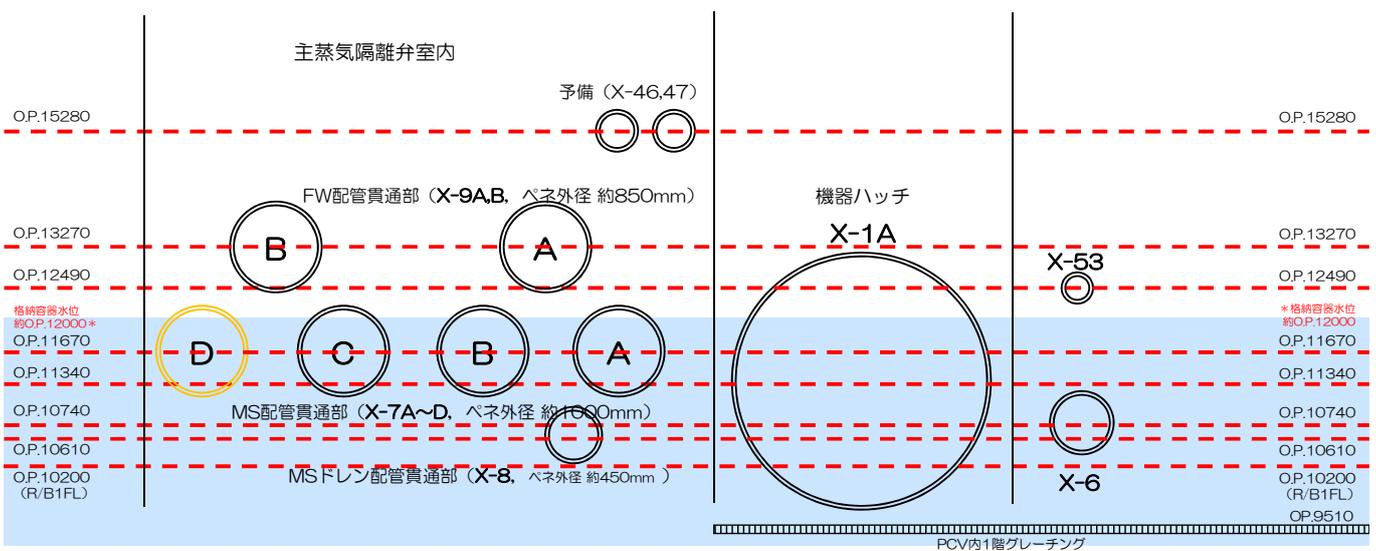
小型カメラ（今回調査）では見えない部分や詳細に確認が必要な場合、小型調査装置（ロボット）を投入して詳細な状況を確認する。

- ◆ 小型調査装置は無線操縦の自走式
- ◆ 小型調査装置を投入する際は同時に小型俯瞰カメラを使用し、装置の状態をモニタ
- ◆ 小型調査装置の操縦は被ばく低減のため、R/B二重扉の外でモニタしながら操縦



## (参考) 3号機 格納容器内水位・配管貫通部 位置関係

(PCV外側から見た図)



\*格納容器水位はD/WとS/Cの差圧の圧力換算で算出した値

- 現状、3号機ではMS配管（D）貫通部ベローズに漏えいが確認されている。